

## 平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

|       |            |        |       |
|-------|------------|--------|-------|
| 学校名   | 竹原市立竹原西小学校 |        |       |
| 学校長氏名 | 北村 由美子     | 栄養教諭氏名 | 藤原 弥生 |
| 職員数   | 40 名       | 児童・生徒数 | 295 名 |

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 食事マナーの定着に向けて、引き続き学校全体で取り組んでいく。
- 食への実践力をつけるため、「たけにし弁当 DAY」、長期休暇中に「食のチャレンジ」、子ども料理教室、各料理コンテストへの参加などを引き続き行う。
- 朝食の内容に課題がある。

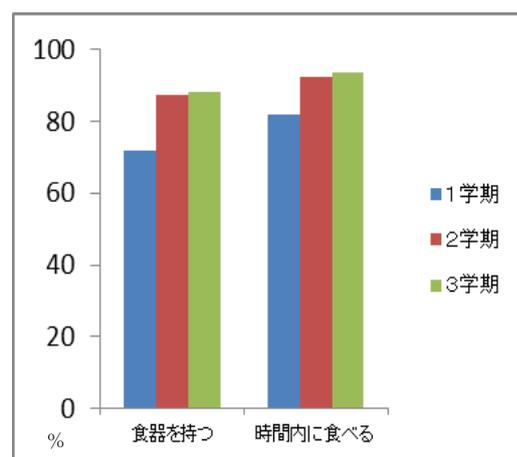
## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

|                | 成果指標              | 目標値         |
|----------------|-------------------|-------------|
| 食事のマナー定着に向けた取組 | 食育に関する児童・保護者アンケート | 肯定的評価 85%以上 |
| 食育の推進          | 食育に関する児童・保護者アンケート | 肯定的評価 85%以上 |

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

## 【取組 1】（テーマ）食事マナーの定着に向けた取組

- ・食器を持って食べる、時間内に食べる児童の目標値 85%以上  
各学期に食事マナー週間を実施し、図のような結果となり、目標値を達成することができた。



## 【取組 2】（テーマ）食への実践力と感謝の心を育む取組

## ○「たけにし弁当 DAY」の取組

- ・11月5日（土）の登校日に全校で取り組んだ。親子または自分で、お弁当作りの課題を決めた。6年生は家庭科の授業で献立を立て、62%の児童が1人で作った。児童の感想には、楽しく取り組んだ様子や保護者への感謝を表す内容のものが多くあった。保護者の感想には、子どもの成長を感じたり、あたたかく見守ったりするものなどが多くあった。実施後のアンケートでは81%の児童が、お弁当作りをまたしたいと答えていた。

## ○夏休み・冬休み「食のチャレンジ」の取組

- ・1年生から6年生まで、それぞれの発達段階や家庭科で学習したことなどを考慮し、食事の準備・食事マナー・米を炊く・料理をつくるなどの課題を決め、家庭で取り組んでいる。家庭での手伝いは人の役に立ち、喜んでもらえる体験活動であり、児童の自己肯定感を高めることにもつながっている。

## ○「竹ちゃん料理コンテスト」（竹原市教育委員会）への応募

- ・地場産物を活用した料理コンテストに5・6年生全員が参加した。（1～4年生は自由応募）  
5年生女子が最優秀賞、5年生男子が優秀賞をとることができた。

### 【取組3】(テーマ) 学校・地域が連携した食育の推進

#### ○総合的な学習の時間での取組

- ・3年生は地域の特産物である「ぶどう」について、生産者から学び、ぶどうジャムをつくる。
- ・5年生は竹原市の伝統料理である「魚飯」について学習。地域の方を講師に「魚飯」を通して竹原の歴史について学ぶ。

「魚飯」の調理実習では、竹原市管理栄養士・食生活改善推進委員と連携し行った。



#### 魚飯について

竹原は昔、塩田で栄えていました。魚飯はその頃のお祝い事や祭事でのおもてなし料理でした。白身魚を焼いて身をそぼろ状にしたものやその他の具をご飯にのせ、骨でとっただし汁に味をつけて、かけて食べます。

#### ○地域団体との連携（国際ソロプチミスト竹原）

- ・子ども料理教室への協力。
- ・6年生家庭科「共に生きる生活」の単元での感謝の会への協力。

#### ○スーパーマーケットに毎月給食だより・献立表・レシピを置くなどの情報発信

#### ○学校評議員・民生児童委員対象の給食試食会を行い、学校給食・食育について講話し、理解を深めていただいた。

### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・給食試食会で、ひろしま給食についての概要を説明し、家庭で作ることを呼びかけた。
- ・給食だよりや食育通信・給食試食会で、ひろしま給食について家庭へ情報発信した。
- ・スーパーマーケットに給食だよりやレシピを置かせていただき、市民への周知を図った。
- ・竹原市の広報で、タコタコライスを掲載した。
- ・夏休み子ども料理教室で「タコタコライス」「ひろしままんぷく！シャキシャキサラダ」「広島フルーツぷるるんゼリー」を調理した。
- ・6年生家庭科「共に生きる生活」の単元での調理実習で「ひろしままんぷく！シャキシャキサラダ」を調理した。
- ・竹原市小学校教育研究会家庭科実技講習会で教職員を対象とした調理実習で「ひろしままんぷく！シャキシャキサラダ」を取り入れて行った。



## 5 取組に対する成果と課題

「食育に関する児童・保護者アンケート」より(本校)

|                | 目標値         | 達成値   |
|----------------|-------------|-------|
| 食事マナーの定着に向けた取組 | 肯定的評価 85%以上 | 96.5% |
| 食育の推進          | 肯定的評価 85%以上 | 98.2% |

広島県「食に関する実態調査」より 対象5年生

|     | 設 問                                   | 全体<br>(a) | 本校<br>(b) | 差<br>(b-a) |
|-----|---------------------------------------|-----------|-----------|------------|
| 児童  | 主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている                 | 60.0      | 56.3      | -3.7       |
|     | 食事の準備や後かたづけの手伝いをしている                  | 74.2      | 92.0      | +17.8      |
|     | 家で、家族の人といっしょか、または、一人で料理をつくることがある      | 61.2      | 75.5      | +14.3      |
|     | 自分で作れる料理がある                           | 91.1      | 96.0      | +4.9       |
| 保護者 | 主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている                 | 48.1      | 45.5      | -2.6       |
|     | 野菜の摂取など、お子様が学校で習ったことについて、一緒に話をすることがある | 56.4      | 77.3      | +20.9      |
|     | お子様は、食事の準備や後片づけの手伝いをする                | 69.1      | 71.5      | +2.4       |
|     | お子様は、家で、家族の人と一緒に、または、一人で料理を作ることがある    | 63.1      | 72.7      | +9.6       |

### 【成果】

- 食事マナー週間の実施、給食指導、給食放送の活用、長期休暇中の「食のチャレンジ」で家庭と連携して取り組み、食事マナーの定着に向けた取組の肯定的評価は、達成値が96.5%となった。
- 「たけにし弁当 DAY」、長期休暇中の「食のチャレンジ」、子ども料理教室、各料理コンテストへの応募など、家庭と連携した取組を行い、本校での食育の推進の肯定的評価(保護者)は、達成値が98.2%となった。また、広島県「食に関する実態調査」より「食事の準備や後かたづけの手伝い」「家で、家族の人といっしょか、または、一人で料理をつくることがある」など全体の平均値と比べると本校では高い割合となった。今後も継続して行うことで、家庭での実践に結び付けていきたい。

### 【課題】

- 「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている」項目が全体の平均値と比べると本校では、低い割合となっているのが、課題である。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

○朝食は内容に課題がある。

家庭を巻き込んだ朝食についての取組を行う。また、学級担任とのT.T授業・給食試食会・食育通信による啓発など引き続き取り組んでいく。



# 食育通信

平成 28 年 11 月 19 日

竹原西小学校 NO. 7

たのしく(け)じめのある(に)こにご笑顔あふれる(し)ょくたく(食卓)



## ～たけにし弁当 DAY ご協力ありがとうございました～

たけにし弁当 DAY では、ご協力いただきありがとうございました。

子供たちは、自分で決めためあてを目標にお弁当づくりに取り組みました。保護者のみなさまには、子供たちのやる気を大切に見守ってくださり、また、実施後には、たくさん感想をお寄せいただき、ありがとうございました。



## お弁当づくり!がんばりました

すこしむずかしかったけど楽しかったです。(2年生)



全部自分で作りました。特にがんばったのは肉じゃがです。予定していた通りにできました。(6年生)



たまごをまくのがむずかしかったです。(1年生)



前日に準備をして、朝早く起きて一人でがんばって作りました。うれしかったです。(3年生)

お弁当をほとんど一人で作って楽しかったです。(5年生)



たまごやきやおむすびをつくりました。次はもっとうまくつくりたいです。(4年生)



～お家の人からの感想を紹介します～



☆前日からお米をといだり、お弁当の日には、いつもより少し早起きをして、一緒に作りました。卵を上手に割ったり、ウインナーを焼いたり、出来上がったものをお弁当箱に詰めるなどしました。作っていて楽しかったね。(1年生)

☆レシピを決める時から自分の好きなおかずを作ることにしたので、ほぼ1人で作りました。春巻きを巻くのは、少し難しそうでしたが、最後まで頑張りました。自分で春巻きを作った感想は、「春巻きがおいしすぎて、味わいながらじっくり食べた。」と大満足の様子でした。(2年生)

☆前日から「自分でお弁当を全部作る。」とお弁当の完成図まで書いて楽しみにしていました。当日は早起きをしてゆっくりですが、1つ1つがんばって作っていました。自分の大好物のサンドイッチの作り方がわかったようです。「これからは自分で作る。」と言い、自信につながっていたのでうれしかったです。(3年生)

☆自分からおむすびと卵焼きを作ると言い、頑張って作りました。おむすびは家族のも作ると言って楽しそうに作りました。来年はもっとたくさんのおかずを作ると言って張り切っていました。(4年生)

☆前日の夜から下ごしらえをして、朝はいつもより早く起きて自分でほとんど作りました。肉を炒めたり、野菜を切ったり、声かけだけでやってくれました。また、料理を一緒にしたいです。(5年生)

☆早起きして、率先してお弁当作りに取り組みでいました。お弁当作りの大変さや楽しさ、その両方が経験できたと思います。回を重ねるごとに手際もよく、味もよくなってきているので、これからも楽しみです。(6年生)



## 子どもの可能性は無限大!!



保護者のみなさんや子どもたちの感想には、「一緒に作ってうれしかった」「楽しかった。」との言葉がたくさんありました。家族の楽しいお弁当作りの風景が見えるようでした。

また、やり切ったという喜びや自信を感じた子どもたちが、たくさんいました。いろいろなことができるようになった子どもの姿に感動したという声も多く寄せられ、とてもうれしく思いました。

「よくできたね。」という親からのほめ言葉は、子どものやる気を引き出させてくれると感じます。お弁当作りを通して、自分の健康を守る人に育ってほしいと願っています。



裏面もご覧ください。